4. 減災対策協議会に関する取組

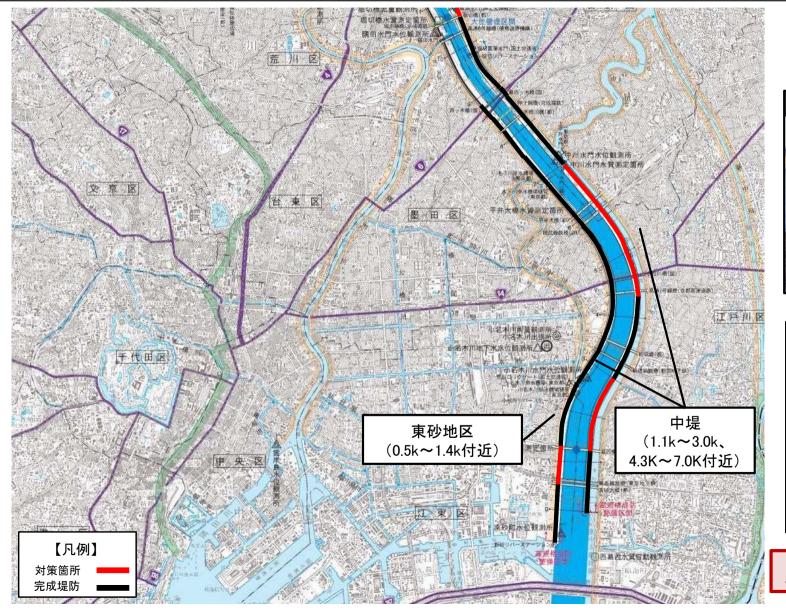
荒川水系(東京都)の減災に係る取組 (令和3年度取組状況) 【案】

令和4年5月30日

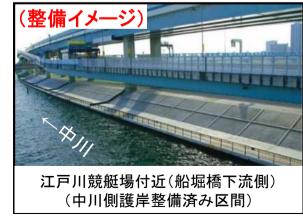
1) 洪水を安全に流すための取組 ■洪水を河川内で安全に流す対策

○堤防等河川管理施設の整備(洪水氾濫を未然に防ぐ対策)

• 必要な堤防断面を満たしていない区間の堤防のかさ上げや堤防の拡幅を実施



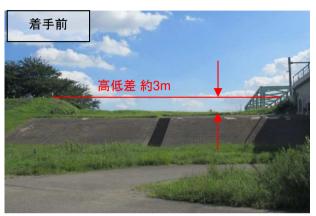




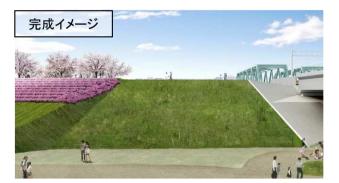
○優先的に実施する堤防整備(橋梁部周辺対策)

• JR東北本線荒川橋梁の橋梁部周辺(北区赤羽三丁目地先)において堤防のかさ上げ等を実施

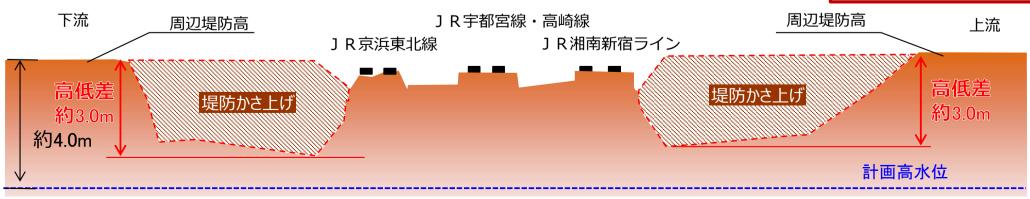








〈JR東北本線橋梁部右岸堤防の現況〉



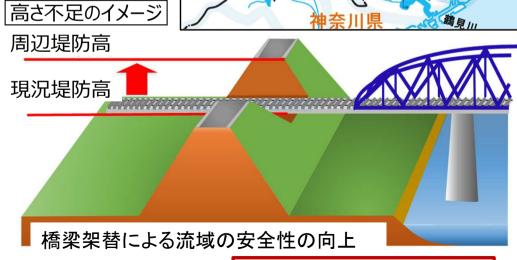
○橋梁対策等の実施

• 京成本線橋梁架替事業において用地測量、用地買収を実施









2) 大規模氾濫に対する被害軽減のための取組

○ ICTを活用した洪水情報の提供

• SNSにより、タイムライン運用状況や洪水・気象情報等の提供を実施



【タイムライン】#台風第5号 に伴い #荒川下流タイム ライン の適用を開始しました。現在(6/23 14:00)の状況 は『レベル1-1』です。今後の台風情報等にご注意下さ

い。#荒川 #タイムライン

午後8:12 · 2021年6月23日 · Twitter Web App



【解説】#台風第8号は南鳥島近海を15km/hで北東に進んでいます。

台風は今後、発達しながら日本の東を北西に進み、27日には関東の南東海上に接近、28日には関東甲信地方に接近し通過する見込みです。

台風の進路を踏まえ、#荒川下流タイムライン 1-1(-96H)とします。

午前10:44 · 2021年7月25日 · Twitter Web App

ツイッターによる情報発信

○河川管理の高度化の検討

• 「荒川3D洪水浸水想定区域図」を荒川下流河川事務所のホームページにて公開



- ■取組による効果
- 水害リスクについてわかりやすい情報提供が 行えた。
- 自治体広報や地域防災で荒川3D洪水浸水 想定区域図の画像が活用されている。
- ■最新のお知らせ
- •令和4年3月29日

「みんなで一緒にあらかわろう!」プロジェクト 『荒川下流GISオープンデータポータル』を開設

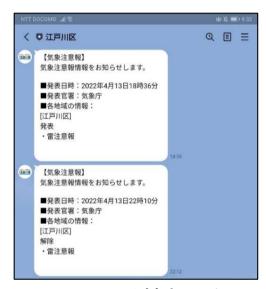


• 令和4年4月27日

荒川3D洪水浸水想定区域図(下流域) ~3D 洪水ハザードマップ~ 英語版アプリを公開

〇円滑かつ迅速な避難に資する施設(避難先、防災行政無線等)を整備

- LINEによる情報発信を開始
- 防災ポータル、アプリを構築し、リアルタイムで被害状況や避難所状況を伝達できる環境を整備



LINEによる情報発信



・ 江戸川区防災ポータル ■参音声読み上げ ● FOREIGN LANGUAGE The second 緊急情報 現在、緊急情報はありません。 「江戸川区防災アプリ」「江戸川区防災ポータル」 をリリースしました。 游難情報 気象等報・注音報やその他気象 災主時の避難情報・避難所の問 い共卒連續期の運行情報やライ 日頃からご自分のエリアの災害 恐情報などをリアルタイム表 フラインの状況などを表示しま の各陣席を確認しておきましょ 情報を確認することができま 群羅指示等 警報・注音報 御業所一覧 住室被害 地震情報 気象情報・注意報 医療救護所一覧 通信 (携帯、固定) ライフライン 被害状況マップ 台田情報 災害用伝言ガイヤル 防災マップ一覧

防災ポータル

防災アプリ

〇円滑かつ迅速な避難に資する施設(避難先、防災行政無線等)を整備

・ 自主避難施設の指定および配置職員への説明会の実施(令和3年度)

自主避難施設の指定

自主避難施設とは、台風の接近等により江東区内で住宅の浸水等の発生が事前に懸念される場合において、自主的な避難を希望する区民を受入れる施設です。

被害の拡大又は避難者の増加等によって江東区が避難所の開設を決定した場合、開設中の自主避難施設は避難所に移行し、区民の受け入れを継続します。

また、現在のところ文化センターやスポーツ施設など江東区内13施設を指定しており、令和4年度には1施設追加して計14施設の運用を計画しています。

自主避難施設配置職員の編成・説明会の実施

自主避難施設の開設を決定した際は、自主避難施設 配置職員(係長級職員1名以上を含む3名)を派遣し、施 設管理者と運営体制を構築します。

(※一部施設は施設内職員のみで対応)

編成後は職員に対して、自主避難施設の管理・運営に 関する説明会も実施しています。

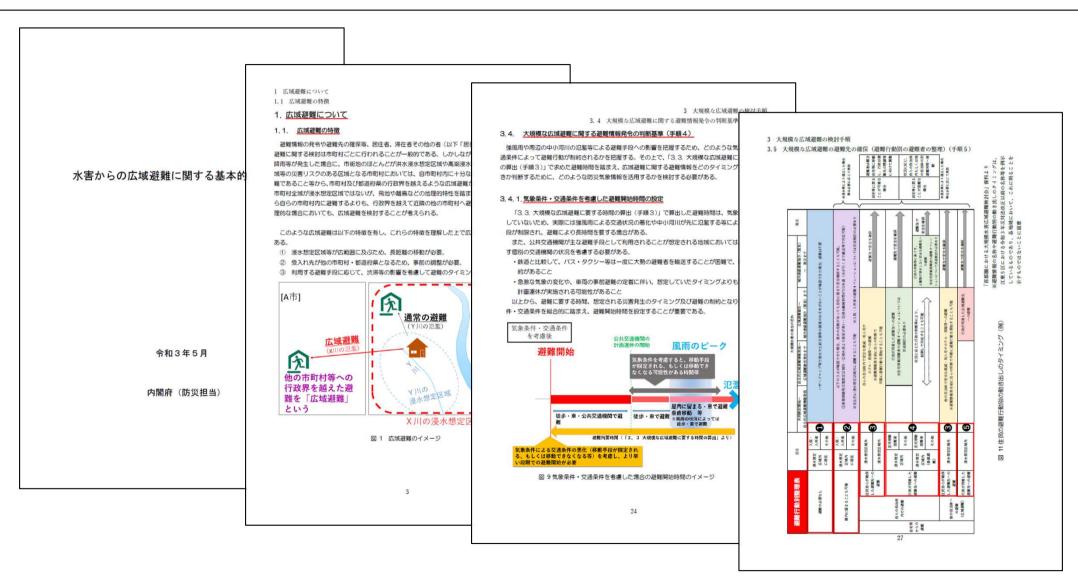


職員説明会の様子(R3.7.26)

江東区

○ 浸水特性を考慮した避難計画の策定(支援)

• 「水害からの広域避難に関する基本的な考え方」を作成



水害からの広域避難に関する基本的な考え方

内閣府

〇ハザードマップの改良、周知、活用 ○住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進

• ハザードマップの説明やマイ・タイムラインの作成方法を解説した動画を作成し、区HPで公開

ハザードマップの説明動画

複数の災害に応じたハザードマップを作成したため、みなさまにハザードマップの見方や避難方法に関する 説明動画を作成しました。下記リンクからご視聴ください。



千代田区ハザードマップの見方について(外部サイトへリンク)



第字対策】 T代用区ハリードマップ (世水・高潮・土砂災害)

千代田区

○住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進

受付開始

2月18日(金)

12:00~

• マイ・タイムラインの普及(講習会)



開催日時 2022年3月19日 (土) 13:30~15:30

対象規

荒川下流沿川にお住まい、または通勤・通学している方 (戸田市・川戸市・板橋区・北区・民立区・黒田区・寛飾区・江戸川区・江南区)

定員

80人 (申込み先着順)

申 込

受付フォームからの申し込み [URL] https://forms.gle/FAQ7oBeHubZVSVtA9



- ・本講習会は、Web会議ツールのZoomを用い実施します。
- 参加にはご自身でパソコンやインターネット回線等をご用意頂く必要があります。
- ・申し込み確定後、事務局からWeb会議招待メールをお送りします。
- あた、当日使用する教例で野心にて応じことで見るか。 - スの体分容表話は英はフェー/ にアデ陳知下さい
- その他注意事項は受付フォームにてご確認下さい。

■取組概要

広く一般の方々への啓蒙のため、避難の考え方、マイ・タイムラインの作り方等を学んで頂く「マイ・タイムライン講習会」を実施

■実施内容

実施日時 令和4年3月19日(土)

13:30~15:30

実施方式 ZoomによるWeb開催

講 師 山神明理さん

対 象 荒川下流沿川にお住まい、

または通勤・通学している方

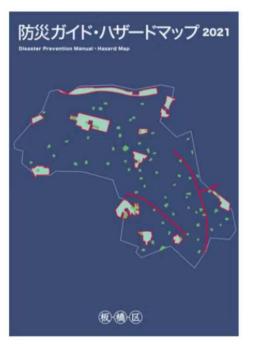
- ■取組内容の工夫点、取組による効果
 - ・お天気キャスターを講師に招き、荒川の気象の 知識を交えた馴染みやすい内容とした。
 - ・住民一人一人の単位で、水防災に関する知識と心構えを共有し、事前の計画等の充実が促されることを期待する。

○ハザードマップの改良、周知、活用 ○住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進

- ・ 想定最大規模降雨とした洪水ハザードマップ(集中豪雨版)を更新
 - ▶ 集中豪雨版の更新とともに荒川氾濫浸水継続時間版・高潮ハザードマップを追加。
 - ▶ 住民に広く周知するために冊子にまとめて全戸配布を行った。
 - ▶ ハザードマップを活用して、要望のあった団体・学校での勉強会を実施。

洪水ハザードマップ(集中豪雨版)

防災ガイド・ハザードマップ 2021



板橋区

○ハザードマップの改良、周知、活用 ○住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進

• 板橋防災プラスプロジェクト

板橋防災・プロジェクトについて 目的 「板橋防災プラスプロジェクト」とは、少し堅苦しいイメージのある「防災」に、"楽しい""お いしい"といった「なにか」をプラスして、これまで防災に興味のなかった人や防災とは一見 無関係の企業や団体を巻き込んで実施する取組です。 この取組により、防災に関心のある方、団体のすそ野を広げ、地域全体の防災力向上 へつなげていくことを目的として、当プロジェクトを実施していきます。 「感染症予訪への配慮」 「個人の防災知識取得をサポート」 「幅広い層に訴求するための発信方法の改善」 企業 自社の技術を活用したい 社会貢献したい 区民 地域 防災について学びたい 行政、区民、企業、共同体など、多様な主体が「協働」できる「場」の創出 教育機関 専門的知見を活かしたい 教育に防災を取り入れたい 行政機関の連携が必要 板橋防災 っプロジェクトの基本コンセプト 防災は"楽しい"や"おいしい"を必要としています。 防災は"協力"や"発見"を必要としています。 防災場所が 従来の防災に様々な「なにか」をプラスして、新たな防災事業を展開します。 実施事業一覧

おうちで備えるキャンペーン

- ローリングストックの普及啓発
- 見て、学んで、その場で購入できる
- 区内商業施設等の協力により開催
- 防災用品を集めた特設コーナーを設置
- イベントスペースで防災関連情報の発信
- 防災レシピブックの作成、配布
- CAFE DINING NAKAJYUKUで防災ランチ提供

「#おうちで備える2021」SNS写真投稿キャンペーン

- 区民等から、日常の防災対策、備えの画像を投 寝してもらう
- おうちで備えるキャンペーンの会場で収集した備えるキャンペーンの会場で収集した備える

防災レシピ

- 缶詰などの備蓄食品を日常の食事で活用
- 栄養士が考案したレシピを提案

実感!ハザードマップ

- 水害リスクの高い地区への早期避難の啓発用 広報物の作成
- NHK、いたばしプロレスリングと連携
- 区内で活躍する「いたばしプロレスリング」をモデルに起用
- 水害リスクが高い、区内11箇所で撮影

動画配信(いたばし防災プラスチャンネル)

- 親しみやすい動画で新たな層に意識啓発
- 職員が創意工夫を凝らして作成した動画を YouTubeにアップ
- ◆ やってみた動画/How to 動画/知識習得動事業者と連携した動画の作成

防災スマホ教室

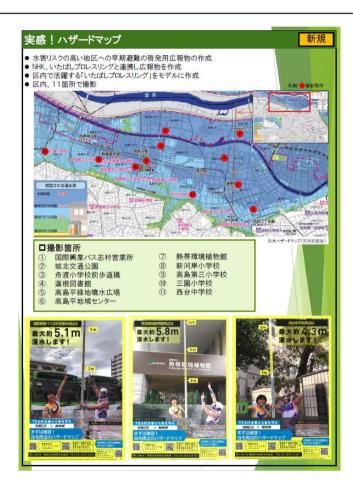
- 災害時に自分で必要な情報を取得できるようになる(気象情報・避難所情報など)
- 携帯電話会社(ソフトバンク、docomo)による講師派遣協力

いたばしシェイクアウト訓練

- 自宅で、学校で、職場で実施
- 同日同時刻に一斉実施
- 密にならない防災訓練

防災スナック

- ローリングストックの普及啓発
- スナック一つから始められる家庭備蓄
- 湖池屋との協働による、オリジナルラベルのポテトチップス
- ラベルにあしらった二次元コードにより、板橋防 災プラスプロジェクトのHPにリンク





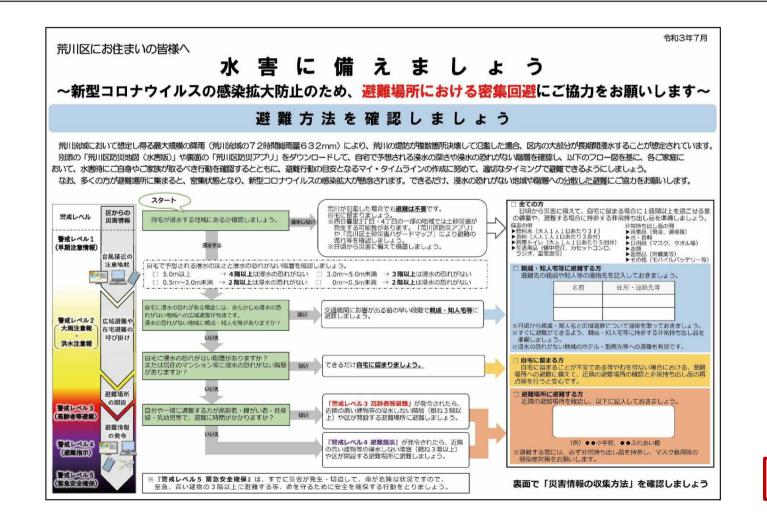
R3では、その他以下の取組も実施

- 「#おうちで備える2021」SNS写真投稿キャンペーン
- ・板橋防災プラスチャンネル(動画配信)

板橋区

○ハザードマップの改良、周知、活用 ○住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進

- ・ 意識啓発チラシの作成・全戸配布
 - ▶ 警戒レベルに応じて区が発令する避難情報と、その際に区民が取るべき避難行動等をまとめた チラシを作成し、全戸配布することにより、令和3年5月の災害対策基本法の改正に伴う避難情 報の名称の変更を周知するとともに、水害に対する意識啓発を行った。



荒川区

○災害リスクの現地表示

• NHKと協力し、区内施設に各地点の想定浸水深を図示したポスターを作成、掲示





区内施設の想定浸水深を図示したポスターの例

台東区

○災害リスクの現地表示

• 荒川氾濫時の浸水深を表示した区掲示板支柱用のシールを各町会 · 自治会の希望する区掲示板 に設置

【設置箇所】

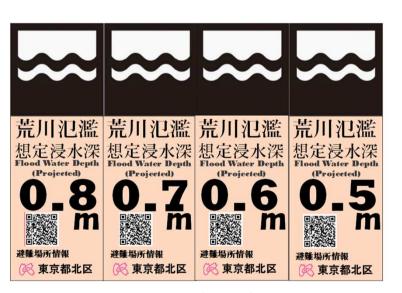
区内243箇所

【設置方法】

区内町会・自治会に向けて、設置希望調査を行い、設置を希望する町会・自治会に向けてシールを配付し、掲示板支柱への設置をしていただいた。



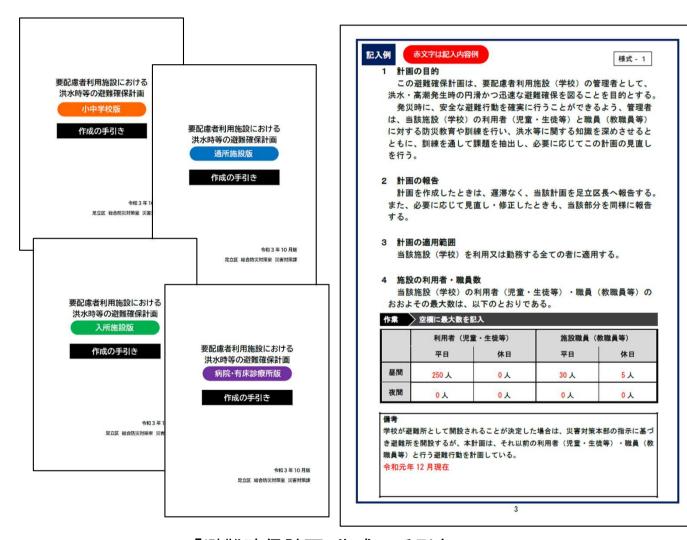
設置例



浸水深を表示した区掲示板支柱用シール

○要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施

・避難確保計画に基づいた訓練実施が義務化されたことを周知するため、通知及び避難訓練実施報告書(ひな型)を作成し、要配慮者利用施設に送付





「避難確保計画」作成の手引き

避難訓練実施報告書(ひな型)

足立区

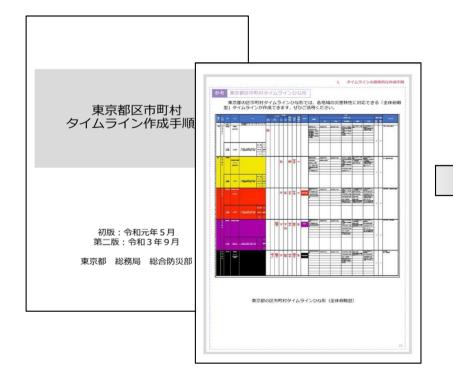
○避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認(タイムライン)

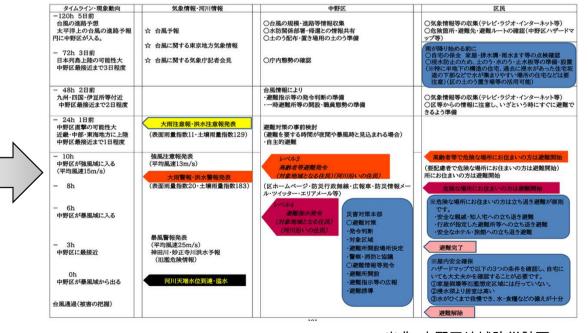
- 都減災協議会において、水害対応タイムラインの作成状況等について情報共有
 - ◆主な取組内容と成果
 - ·指定河川(洪水予報河川·水位周知河川)からの浸水想定区域を有する自治体を中心とした、水害対応タイムラインの作成状況の確認。
 - ·洪水·高潮時における避難指示などの発令対象区域、発令判断基準の確認



東京都区市町村タイムライン作成手順書 (東京都総務局)

タイムライン作成例(中野区)



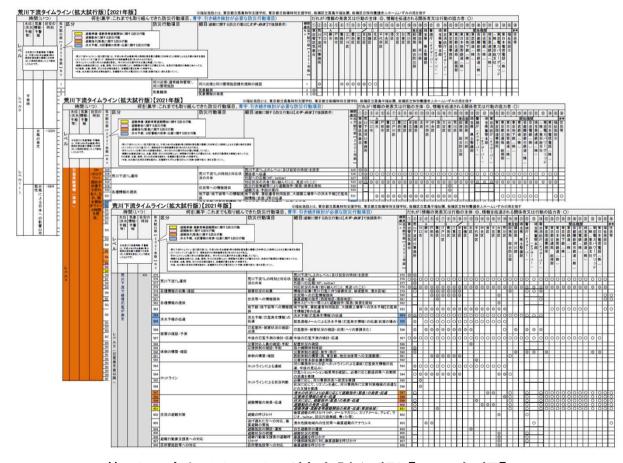


出典:中野区地域防災計画

東京都

○多機関連携型タイムラインの拡充(荒川下流タイムラインの策定・運用)

- ・ 荒川下流タイムライン(拡大試行版)を運用し、専門部会において見直しを実施
- 早期の危機感の共有、早期対応の意思決定を促すタイムラインへの改善を図るべく、荒川下流域 水防災タイムライン(流域タイムライン)を検討し、台風性降雨シナリオにおける流域警戒ステージ設 定(案)を検討



荒川下流タイムライン(拡大試行版)【2021年版】

台風性降雨シナリオにおける流域警戒ステージ(案)

- ■ステージ I (-120H~-96H)
- ・台風、及び熱帯低気圧の発生位置、経路
- ■ステージⅡ (-48H)
- 埼玉県府県情報、台風説明会の実施
- ・日最大雨量200mm以上の予報
- (・流域平均雨量150mm以上の予報)
- ■ステージ皿 (-30H)
- ・岩淵水門(上)水位が水防団待機水位AP+3.0mを超過し、 さらに水位が上昇する見込み
- ■ステージIV (-14H)
- ・治水橋水位が氾濫注意水位AP+7.5mを超過し、さらに水位が 上昇する見込み

流域警戒 ステージ	時期区分	状況	防災行動の目標	防災行動の概要
ステージ I	発災概ね 5~3日前	・5~3日先に台風が接近 ・降雨の可能性が高まっている	災害の危険性に注意を向ける!	・危機感醸成 ・資機材・人員の準備
ステージ エ	発災概ね 2日前	・台風・大雨説明会が開催 ・流域で洪水発生が考えられる状況	防災対応の方針を決定する!	・庁内に荒川氾濫の可能性を周知 ・避難所開設に向けた調整
ステージ Ⅲ	発災概ね 1日前	・流域平均雨量(予測・実績)に基づき流域で洪水発生の可能性が高くなった状況	防災対応を開始する!	・避難所の早期の準備・開設 ・自主避難の呼びかけ
ステージ Ⅳ	発災当日	・河川水位が上昇している状況	上下流を意識した防災対応を 実施する!	・避難情報の発信・呼びかけ

台風性降雨シナリオにおける流域警戒ステージ設定(案)

全機関

• 台風の接近を想定した職員災害対応訓練を実施





オンラインによる災害対応訓練(令和3年6月21日)

- 区職員向けの水害対応研修の実施
- ▶ 区職員の風水害に備えた災害対応力の向上を図るため、最新の気象の動向やハザードマップ、 災害対策本部や避難所運営、区民からの問い合わせ対応等に関する研修を実施した。
- ▶ 同内容の研修を30回実施して、約1,000名の職員が受講した。

令和3年度 参集職員向け研修

一次第一

開会

- 1. 最新の気象の動向
- 2. 葛飾区水害ハザードマップについて
- 3. 水害BCPについて
- 4. 参集時期及び災害対策本部の概要
- **--- 休憩 ---**
- 5. 令和元年台風19号における葛飾区の状況
- 6. 令和2年度災害対策本部運営訓練の様子
- 7. 災害対応時に役立つサイトやアプリ
- 8. 風水害に備えた住民からの主な問合せQ&A集
- 9. 避難所運営従事について

質疑応答·閉会



- 水害図上訓練の実施
 - ▶ 荒川や中川の氾濫に備えて、避難所の開設・運営や避難情報の発令判断をすることを目的に、 災害対策本部を運営する図上訓練を実施した。
 - ⇒コロナ禍での避難所運営や、地震発生による風水害との複合災害への対応、DIS(東京都災害情報システム)の操作も訓練シナリオに盛り込み、災害対応力の向上を図った。
 - ▶ 同日、避難所開設訓練と水防図上訓練も併せて実施して、合計550名程が参加した。
 - ▶ 訓練参加機関:東京都、消防、警察、自衛隊、国土交通省荒川下流河川事務所



災害対策本部会議の様子



会議結果共有の様子



住民からの問い合わせ対応

- 京成本線荒川橋梁部における夜間の水防訓練を実施
 - ●『京成本線荒川橋梁部のおける水防活動手順書」に基づき水防訓練を実施
 - ●マスコミ等が入る公開の訓練は以下の通り実施

足立区 日時:令和4年5月27日(金)から5月28日(土)(夜間)

葛飾区 日時:令和4年6月3日(金)から6月4日(土)(夜間)(予定)

●実施内容

実際の現場で水防活動手順書に基づく対策(土のう積み、止水板設置)を実施越水防止対策の妥当性(手順や所要時間等)や関係機関との連携方法等を確認・検証



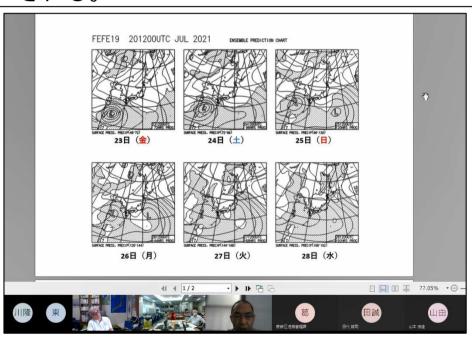
足立区訓練実施状況 令和4年5月13日(金)~14日(土)



葛飾区訓練実施状況 令和4年4月15日(金)~16日(土)

○洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)

- 荒川下流タイムラインのWEB運用会議の導入
 - ▶ これまで荒川下流タイムラインでは、メールを使用して関係者との情報共有を行っていた。
 - ▶ 令和3年度の出水期からWEB会議の運用ルールを作成し、関係者(16市区、東京都、埼玉県、東京管区気象台(熊谷地方気象台)、有識者)が一同に参加するWEB会議を実施。
 - ▶継続して実施することで、第2ホットライン等を個別に電話せずにまとめて実施できることが期待される。





R3.7.21(台風8号)のWEB会議

R3における実施状況

- R3.7.21(台風8号)
- R3.8.5 (台風10号)
- R3.9.16(台風14号)
- R3.9.27、9.28、9.29(台風16号)

○防災教育や防災知識の普及

- 日テレNEWS24 【豪雨災害】新たな備え"流域治水"とは?「命を守る天災学」
 - 日本テレビ「命を守る天災学」第4回 ~豪雨災害に備える~ 「第1部 異常が常態化する豪雨災害」 「第2部 新たな豪雨災害対策~流域治水~」 「第3部 それでも備えは必要」

全国の河川で取組が始まった「流域治水」を テーマに、激甚化する豪雨災害に対し「流域治 水」で取り組む事例等を説明する番組が放映され、現在はYouTubeで見ることができます。

【番組コーディネータ】 東京大学大学院情報学環客員教授 松尾一郎 【番組ゲスト】 国土交通省水管理・国土保全局長 井上智夫

【豪雨災害】新たな備え"流域治水"とは? 「命を守る天災学」 https://www.youtube.com/watch?v=ZTb_LBUnd7s

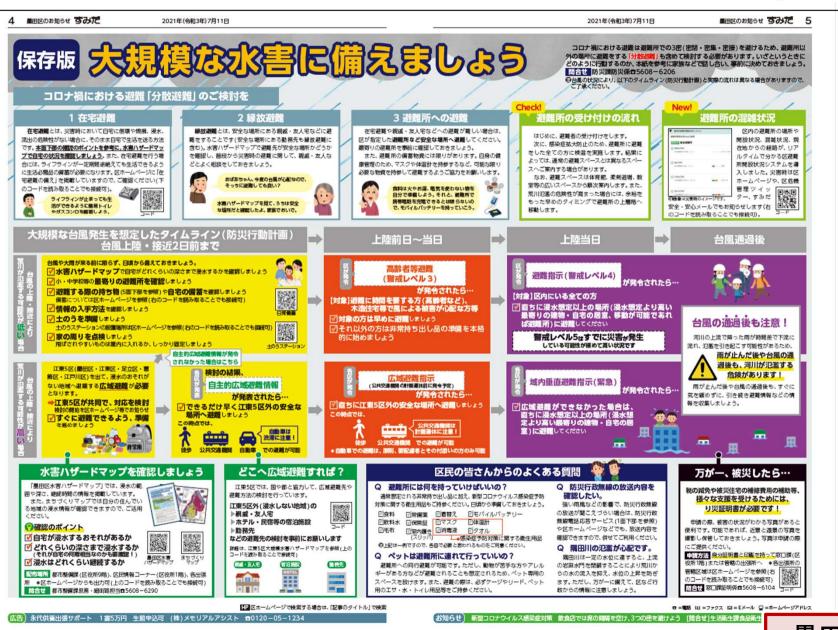




高台まちづくりの事例紹介(足立区新田)

○効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料作成の実施

令和3年7月の区報にて避難方法やタイムラインなどを表示した「水害に対する備え」を掲載



○効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料作成の実施

• 「えどがわ区民ニュース」で大規模水害時における自主的な広域避難の促進に向けた番組を作成









○区民等に向けた河川情報の発信の工夫・改善、区民向け周知

防災気象情報の利用等について、ホームページやツイッターを用いて情報発信を実施

各防災気象情報についてHPで解説

防災気象情報の解説

気象災害から身を守るために、以下のような防災気象情報をご活用ください。

台風情報

台風が発生すると、台風の位置、強さ、大きさの実況や予報に関する台風情報を発表します。詳しくは<u>「台風情報」の解説</u>をご覧ください。

気象警報・注意報

大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるときは「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」を、 さらに、重大な災害が起こるおそれが奢しく大きいときは「特別警報」を発表して注意や警戒を呼びかけます。詳しくは<u>「気象警報・注意報」の解説をご覧ください。また、特別警報については「特別警報について」もご覧ください。</u>

キキクル(大雨・洪水警報の危険度分布)

大雨警報、洪水警報、記録的短時間大雨情報等が発表されたとき、あるいは、雨が強まってきたときなどに、土砂災害、低地の 漫水、中小河川の増水・氾濫といった災害発生の危険度の高まっている場所を、5段階に色分け表示された地図で確認できます。 詳しくは「キキクル(警報の危険度分布)」の解説をご覧ください。

気象情報

気象警報・注意報の発表に先立って1日〜数日程度前から注意・警戒を呼びかけたり、気象警報・注意報の発表中に現象の経過、 予想、防災上の留意点等を解説したりするために「気象情報」を発表します。詳しくは「気象情報」の解説をご覧ください。

記録的短時間大雨情報

大雨警報を発表中に、その都道府県において数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり解析したりした場合に「記録的短時間大雨情報」を発表します。詳しくは「記録的短時間大雨情報」の解説をご覧ください。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)の発表後、土砂災害の危険度がさらに高まったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける防災情報で、都道府県と気象庁が共同で発表します。遊難にかかる時間を考慮して、2時間先までの土壌雨量指数等の予想を用いています。土砂災害警戒情報が発表されたときには、土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)によって詳細な危険度分布を把握できます。詳しくは「土砂災害警戒情報・土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)」の解説をご覧ください。

指定河川洪水予報

防災上重要な河川について、河川の増水や氾濫に対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、国が管理する河川は国土交通省水管理・国土保全局と気象庁が、都道府県が管理する河川は都道府県と気象庁が、共同で指定河川洪水予報を発表しています。詳しくは「指定河川洪水予報」の解説をご覧ください。

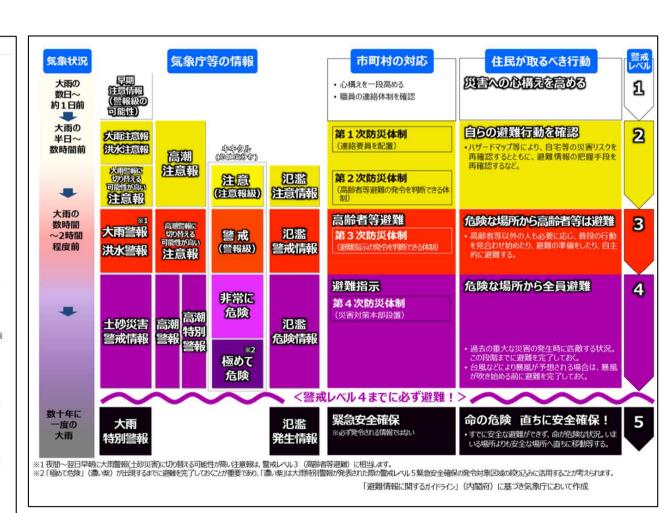
解析雨量

解析雨量は、国土交通省と気象庁が全国に設置している気象レーダーと、アメダス及び自治体等の地上の雨量計を組み合わせて、雨量分布を1km四方の細かさで解析したものです。解析雨量を利用すると、雨量計の観測網にかからないような局地的な強雨も把握することができます。詳しくは「解析雨量」の解説をご覧ください。

今後の雨(降水短時間予報)・ナウキャスト(雨雲の動き・雷・竜巻)

今後の雨(降水短時間予報)は、解析雨量をもとに15時間先までの各1時間雨量を予報したもので、今後数時間の大雨(集中豪雨)の動向を把握して、避難行動や防災活動に利用することができます。雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト)は最新の雨量の実況分布をもとにした予報で、目先数十分の強い雨(局地的大雨)で発生する水害などに対して、迅速な防災活動に利用することができます。詳しくは「降水短時間予報」の解説及び「高解像度降水ナウキャスト」の解説をご覧ください。

このページのトップへ



防災気象情報と警戒レベルについて

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/ame chuui/ame chuui p8.html

気象庁

○避難訓練への地域住民の参加促進

• 広報誌において、避難方法や避難場所、避難時の注意点等について周知



あらかわ区報(令和3年7月21日)

○共助の仕組みの強化

- 「墨田区防災士ネットワーク協議会(平成30年度設立)」の取組
- ・ 荒川治水資料館アモアへの視察(令和3年11月13日 39名参加)
- ・協議会内に5つの分科会を設置



荒川治水資料館、岩淵水門、旧岩淵水門の見学

避難所

○垂直避難のリスク周知や広域避難の必要性の啓発に向けた取組の実施

・ 江東5区広域避難推進シンポジウムの開催







○応急的な退避場所の確保

- 令和3年7月に、凸版印刷株式会社及び大塚警察署との間に 協定締結
- 令和3年9月に、学校法人読売理工学院及び富坂警察署との 間に協定締結
- ・ 令和3年12月に、杜の癒しハウス文京関ロ、関ロ一丁目地区のマンション所有者、大塚警察署との間に協定締結









○ダム等の洪水調節機能の向上・確保(既存ダムの機能を最大限活用する運用方法の検討等)

• 事前放流実施要領に基づき事前放流を実施

水資源機構 関東管内ダムにおける事前放流の取組について

- ・利根川水系治水協定、荒川水系治水協定を河川管理者・ダム管理者・関係利水者間で令和2年5月28日に締結
- ・治水協定に基づき、矢木沢ダム、奈良俣ダム、下久保ダム、草木ダム、浦山ダム、滝沢ダムにて事前放流実施 要領を令和3年3月24日に改訂(当初 令和2年5月29日策定)
- ・事前放流は、予測雨量が治水協定の基準雨量を超過した場合に、洪水調節可能量を限度として、流出予測で異常洪水時防災操作の開始水位などを超える分を確保する目標として実施

東北電力(株):1ダム 東日本旅客鉄道(株):1ダム

事前放流判断基準雨量

ダム	基準雨量
矢木沢	350mm (48h)
奈良俣	350mm (48h)
下久保	350mm (48h)
草木	350mm (48h)
浦山	450mm (48h)
滝沢	450mm (48h)

🥝 国土交通省 別紙資料 令和3年度出水期における事前放流の実施状況(総括) ○ 令和3年度においては全国の計94ダムで事前放流を実施(うち46ダムは利水ダム)。(令和3年5月18日~) 〇 このうち、令和3年8月の前線停滞に伴う大雨(11日~19日)においては全国の計69ダムで事前放流を 実施(うち32ダムは利水ダム)。 <令和3年度に事前放流を実施した94ダムの管理者> <令和3年度の事前放流実施ダム数> 治水等 (多目的) ダム 12 ダム (国土交通省※) ■ 治水等(多目的)ダム ■ 利水ダム 治水等 (多目的) ダム 7ダム 水道・農業 その他 国土交诵省※ (水資源機構) 治水等 (多目的) ダム 29 ダム (県) 土地改良区、農林基餘局、 利水ダム 46 ダム 水資源機構 計:94ダム <上表のうち、令和3年8月の前線停滞に伴う 大雨(11日~19日)の事前放流実施ダム数> 関西電力(株):11ダム 東京電力RP(株):4ダム 治水等(多目的)ダム 9ダム 北陸雷力(株)・4ダム (国土交通省※) 由国常力(株)-3ダル

淀川水系

- 布目ダム
- 日吉ダム
- 一庫ダム 吉野川水系
- 新宮ダム
- 富郷ダム
- ・早明浦ダム 筑後川水系
- 寺内ダム

水資源機構

7ダム

21ダム

32ダム

計:69ダム

治水等(多目的)ダム

(水資源機構) 治水等(多目的)ダム

(県)

※内閣府沖縄総合事務局含む

- ○水防関係者間での連携、協力に関する検討(消防機関等との連絡体制の再確認と伝達訓練の実施・連携、協力に関する検討)
- ○毎年、関係機関が連携した実働水防訓練を実施(水防訓練の充実)
- 消防署及び消防団(水防団)と連携した水防訓練の実施













江戸川区合同水防訓練(令和3年5月26日)

○毎年、関係機関が連携した実働水防訓練を実施(水防訓練の充実)

○排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水 訓練の実施

• 区市町村との合同排水ポンプ車訓練を実施

【移動式排水ポンプ車】



配備台数

○10建設事務所で1台ずつ保有し、 計10台配備

特徴

- 〇毎分5㎡の排水が可能な水中ポンプ を2台積載
- ○揚程10mでの排水距離は50m
- ○排水ホースは、100m分(25m・15m・ 10mそれぞれ2セット)を積載
- 〇発動発電機を積載しており、連続で 10時間程度の運転が可能





排水ポンプ車概要説明

水中ポンプ取扱体験

取組概要

- ・区市町村との合同排水ポンプ車訓練実施
- ▶ 排水ポンプ車の性能紹介
- 水防管理団体職員による排水ポンプ車操作体験

取組内容

・令和3年は7建設事務所で実施し、荒川流域内の自治10区7 市が参加

(令和2年は1建設事務所で実施し、荒川流域内の2市が参加)

取組による効果

・区市町村との連携を強化し、水害時における円滑かつ迅速な 水防活動を図るための取組 東京都

【R3実施事務所等】

事務所名	水防管理団体
一建	千代田区、中央区、港区
二建	大田区、 <mark>世田谷区</mark>
三建	中野区、新宿区、杉並区
四建	豊島区、板橋区、練馬区
南西建	日野市
北南建	<mark>三鷹市</mark> 、府中市、狛江市 調布市、 <mark>小金井市、武蔵野市</mark>
北北建	東村山市、清瀬市、東大和市、武蔵村山市

※赤字: 荒川流域内の水防管理団体

○迅速な水防活動を支援するため新技術を活用した水防資機材等の配備

・区内全12か所に土のうステーションを設置し、区報やホームページ等で周知

土のうステーション

土のうステーション

墨田区では、局所的集中豪雨等に備えて、土のうステーションを設置しています。土のうステーションには、1袋約5キロ グラムの土のうが入っており、この土のうを玄関前などに積み重ねておくことで、家屋等の浸水板害を軽減することがで きます。必要に応じて+のうステーションから御自由に+のうをお持ちください。

※土のうステーションを使用できる方

墨田区内にお住いの区民及び個人事業者が対象となります。



墨田区土のうステーション

台風接近時の土のうステーションの取扱いについて

台風の接近が予測される場合、土のうステーションへの土のうの補充を中止したり、強風による事故を防止するため、土 のうステーションを撤収することがあります。

その場合は、土のうを配布する臨時配布場所を開設しますので、そちらを御利用ください。

なお、気象状況等により、臨時配布場所を閉鎖する場合もありますので、土のうステーションや臨時配布場所の開設状況 については、当ホームページ等を御確認の上、御利用ください。

土のうステーション設置場所

土のうステーションは、次の場所に設置しています。

土のうステーション設置場所

設置場所	住所	設置時期
若宮公園	本所二丁目2番19号	平成27年度
吾嬬西公園	八広六丁目53番16号	平成27年度
立花公園	立花一丁目27番5号	平成27年度
錦糸堀公園	江東橋四丁目17番1号	平成28年度
ふじのき公園	東向島二丁目7番5号	平成28年度
つばき公園	墨田五丁目33番9号	平成28年度
平井橋倉庫	立花三丁目29番10号	平成28年度
菊川公園	立川四丁目12番21号	平成29年度
横川公園	東駒形四丁目18番21号	平成29年度
業平公園	業平二丁目3番2号	平成29年度
東墨田公園	東墨田三丁目4番14号	平成29年度
隅田児童遊園	墨田四丁目23番12号	平成29年度

土のうステーション設置場所詳細

D若宮公園(本所二丁目2番19号)



〇吾嬬西公園 (八広六丁目 53番 16号)



※ 吾嬬西公園に設置している土のうステーションは、公園内で行われている電気設備補強工事の 作業帯設置に伴い、一時的に作業帯の脇(北西側)に移設しています。

土のうステーション設置場所詳細(抜粋)

土のうステーション使用方法

土のうステーションには、1台につき約5kgの土のうが約120袋入っています。 土のうステーションは、以下のとおり御使用ください。 使用方法は土のうステーションカバー上面にも記載してあります。

① 前面のカバーを上にまくり上げます。



※カバーは両端がマジックテープ式になっています。

② 上面の枠ぶたを開けます。



③ 前面枠ふたの止め具を外します。



※止め具は両端についています。

※土のうの重みで止め具が外しにくい、また、外した時に前面枠ふたが勢いよく倒れてくる場合がありますので、十分御注意ください。

土のうステーション使用方法(抜粋)

墨田区

墨田区HP

https://www.city.sumida.lg.jp/anzen_anshin/bousai/suigai/donou_station.html